

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】令和6年7月22日(2024.7.22)

【公開番号】特開2024-36619(P2024-36619A)

【公開日】令和6年3月15日(2024.3.15)

【年通号数】公開公報(特許)2024-049

【出願番号】特願2024-17303(P2024-17303)

【国際特許分類】

B60N 2/06(2006.01)

10

B60N 2/16(2006.01)

B60N 2/90(2018.01)

【F I】

B60N 2/06

B60N 2/16

B60N 2/90

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月9日(2024.7.9)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着座部となるシートクッションと、

車体フロア上に取り付けられ、所定方向に延びるロアレールと、該ロアレールに沿って摺動可能に取り付けられ、前記シートクッションを支持するアップレールと、

該アップレールと前記シートクッションを連結するために前記アップレール上に取り付けられる連結プラケットと、を備え、

該連結プラケットは、前記アップレールの上面に当接する底壁部と、該底壁部から連続して上方に延出し、前記シートクッション側が取り付けられる側壁部と、を有し、

前記底壁部及び前記アップレールが接合されることで、前記底壁部及び前記アップレールの少なくとも一方に接合されている部分が形成され、

前記シートクッション及び前記連結プラケットをそれぞれ連結し、該連結プラケットに対して回動可能となるように取り付けられる第1リンク及び第2リンクを備え、

前記連結プラケットは、前記底壁部と、前記側壁部のうち前記第2リンクが取り付けられる部分とを連結し、前記第2リンクが取り付けられる部分の下方位置に配置される補強部を有していることを特徴とする車両用シート。

【請求項2】

前記側壁部は、前記第1リンクが取り付けられる部分から前記第2リンクが取り付けられる部分に向かうに従って、前記底壁部からシート幅方向において遠ざかる向きに屈曲して形成され、

前記補強部は、前記底壁部から前記側壁部に向かって上方に延びる補強壁部であることを特徴とする請求項1に記載の車両用シート。

【請求項3】

前記補強部は、前記底壁部から前記側壁部に向かって上方傾斜しており、

前記補強部には、上方に向かって突出し、前記底壁部に連結した部分から前記側壁部に連結した部分まで延びている補強凸部が形成されることを特徴とする請求項2に記載の車両

40

50

用シート。

【請求項 4】

前記連結プラケットは、前記アッパレールに設けられた被当接部に当接する当接部を有し

前記当接部の外周部分の一部には、切り欠きが形成され、

前記補強部の一部は、シート前後方向において前記切り欠きと重なる位置に設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の車両用シート。

【請求項 5】

前記切り欠きは、前記底壁部のシート幅方向の外側部分に形成されていることを特徴とする請求項 4 に記載の車両用シート。

10

【請求項 6】

前記切り欠きは、シート前後方向において前記第 1 リンク及び前記第 2 リンクの間に複数形成されていることを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の車両用シート。

【請求項 7】

前記補強部の後端部は、前記切り欠きよりも後方位置に配置されることを特徴とする請求項 4 乃至 6 のいずれか一項に記載の車両用シート。

【請求項 8】

前記側壁部のうち前記第 1 リンク及び前記第 2 リンクの間の部分には、穴が形成され、前記穴は、シート前後方向において前記切り欠きに対向する位置に配置されることを特徴とする請求項 4 乃至 7 のいずれか一項に記載の車両用シート。

20

【請求項 9】

前記第 1 リンクは、前記第 2 リンクよりもシート前方に配置され、かつ、前記第 2 リンクとシート幅方向において異なる位置に配置されることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の車両用シート。

【請求項 10】

シートクッション及びシートバックを有するシート本体と、

前記シートクッションに対して前記シートバックを回動可能に連結するリクライニング装置と、

車体フロアに対して前記シート本体を昇降可能に連結するハイトリンク装置と、

前記車体フロアに取り付けられ、前記シート本体を前後移動可能に支持するレール装置と、を備え、

前記シートクッションは、骨格となるクッションフレームと、前記クッションフレームに載置されるクッションパッドと、前記を被覆する表皮材と、を有し、

前記シートバックは、骨格となるバックフレームと、前記バックフレームに載置されるクッションパッドと、前記を被覆する表皮材と、を有し、

前記レール装置は、所定方向に延びるロアレールと、該ロアレールに沿って摺動可能に取り付けられ、前記シートクッションを支持するアッパレールと、を有し、

該アッパレールと前記シートクッションを連結するために前記アッパレール上に取り付けられる連結プラケットを備え、

該連結プラケットは、前記アッパレールの上面に当接する底壁部と、該底壁部から連続して上方に延出し、前記シートクッション側が取り付けられる側壁部と、を有し、

前記底壁部及び前記アッパレールが接合されることで、前記底壁部及び前記アッパレールの少なくとも一方に接合されている部分が形成され、

前記シートクッション及び前記連結プラケットをそれぞれ連結し、該連結プラケットに対して回動可能となるように取り付けられる第 1 リンク及び第 2 リンクを備え、

前記連結プラケットは、前記底壁部と、前記側壁部のうち前記第 2 リンクが取り付けられる部分とを連結し、前記第 2 リンクが取り付けられる部分に上下方向で重なる位置に配置される補強部を有していることを特徴とする車両用シート。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

接合強度を一層向上させて、接合作業を容易にすることが可能な技術が求められていた。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の目的は、構成部品同士の接合強度を向上させ、接合作業を容易にすることが可能なレール装置付きの車両用シートを提供することにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記課題は、本発明の車両用シートによれば、着座部となるシートクッションと、車体フロア上に取り付けられ、所定方向に延びるロアレールと、該ロアレールに沿って摺動可能に取り付けられ、前記シートクッションを支持するアップレールと、該アップレールと前記シートクッションを連結するために前記アップレール上に取り付けられる連結プラケットと、を備え、該連結プラケットは、前記アップレールの上面に当接する底壁部と、該底壁部から連続して上方に延出し、前記シートクッション側が取り付けられる側壁部と、を有し、前記底壁部及び前記アップレールが接合されることで、前記底壁部及び前記アップレールの少なくとも一方に接合されている部分が形成され、前記シートクッション及び前記連結プラケットをそれぞれ連結し、該連結プラケットに対して回動可能となるよう取り付けられる第1リンク及び第2リンクを備え、前記連結プラケットは、前記底壁部と、前記側壁部のうち前記第2リンクが取り付けられる部分とを連結し、前記第2リンクが取り付けられる部分の下方位置に配置される補強部を有していること、により解決される。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

このとき、前記側壁部は、前記第1リンクが取り付けられる部分から前記第2リンクが取り付けられる部分に向かうに従って、前記底壁部からシート幅方向において遠ざかる向きに屈曲して形成され、前記補強部は、前記底壁部から前記側壁部に向かって上方に延びる補強壁部であると良い。

また、前記補強部は、前記底壁部から前記側壁部に向かって上方傾斜しており、前記補強部には、上方に向かって突出し、前記底壁部に連結した部分から前記側壁部に連結した部分まで延びている補強凸部が形成されると良い。

10

20

30

40

50

また、前記連結プラケットは、前記アッパレールに設けられた被当接部に当接する当接部を有し、前記当接部の外周部分の一部には、切り欠きが形成され、前記補強部の一部は、シート前後方向において前記切り欠きと重なる位置に設けられていると良い。

また、前記切り欠きは、前記底壁部のシート幅方向の外側部分に形成されていると良い。

また、前記切り欠きは、シート前後方向において前記第1リンク及び前記第2リンクの間に複数形成されていると良い。

また、前記補強部の後端部は、前記切り欠きよりも後方位置に配置されると良い。

また、前記側壁部のうち前記第1リンク及び前記第2リンクの間の部分には、穴が形成され、前記穴は、シート前後方向において前記切り欠きに対向する位置に配置されると良い。

10

また、前記第1リンクは、前記第2リンクよりもシート前方に配置され、かつ、前記第2リンクとシート幅方向において異なる位置に配置されると良い。

また、シートクッション及びシートバックを有するシート本体と、前記シートクッションに対して前記シートバックを回動可能に連結するリクライニング装置と、車体フロアに対して前記シート本体を昇降可能に連結するハイトリンク装置と、前記車体フロアに取り付けられ、前記シート本体を前後移動可能に支持するレール装置と、を備え、前記シートクッションは、骨格となるクッションフレームと、前記クッションフレームに載置されるクッションパッドと、前記を被覆する表皮材と、を有し、前記シートバックは、骨格となるバックフレームと、前記バックフレームに載置されるクッションパッドと、前記を被覆する表皮材と、を有し、前記レール装置は、所定方向に延びるロアレールと、該ロアレールに沿って摺動可能に取り付けられ、前記シートクッションを支持するアッパレールと、を有し、該アッパレールと前記シートクッションを連結するために前記アッパレール上に取り付けられる連結プラケットを備え、該連結プラケットは、前記アッパレールの上面に当接する底壁部と、該底壁部から連続して上方に延出し、前記シートクッション側が取り付けられる側壁部と、を有し、前記底壁部及び前記アッパレールが接合されることで、前記底壁部及び前記アッパレールの少なくとも一方に接合されている部分が形成され、前記シートクッション及び前記連結プラケットをそれぞれ連結し、該連結プラケットに対して回動可能となるように取り付けられる第1リンク及び第2リンクを備え、前記連結プラケットは、前記底壁部と、前記側壁部のうち前記第2リンクが取り付けられる部分とを連結し、前記第2リンクが取り付けられる部分に上下方向で重なる位置に配置される補強部を有していると良い。

20

30

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

40

50

【補正の内容】	
【手続補正11】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0014	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正12】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0015	
【補正方法】削除	10
【補正の内容】	
【手続補正13】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0016	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正14】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0017	
【補正方法】削除	20
【補正の内容】	
【手続補正15】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0018	
【補正方法】変更	
【補正の内容】	
【0018】	
本発明によれば、構成部品同士の接合強度を向上させ、接合作業を容易にすることが可能なレール装置付きの車両用シートを提供できる。	
【手続補正16】	30
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0019	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正17】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0020	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正18】	40
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0044	
【補正方法】変更	
【補正の内容】	
【0044】	
S 車両用シート	
1 シートクッション	
1 a、2 a クッションパッド	
1 b、2 b 表皮材	
2 シートバック	50

1 0	クッションフレーム	
1 1	サイドフレーム	
1 2	パンフレーム	
1 3	後方連結フレーム	
1 4	弾性バネ	
2 0	リクライニング装置	
2 1	バック回転軸	
2 2	渦巻きバネ	
3 0	ハイトリンク装置	
3 1	第1リンク	10
3 2	第2リンク	
3 3	ブレーキ回転軸	
3 4	ブレーキユニット	
3 5	ハイト操作レバー	
4 0	レール装置	
4 1	ロアレール	
4 2	アッパレール	
4 3	レール操作レバー	
5 0	連結プラケット	
5 1	底壁部(当接部)	20
5 1 a	切り欠き	
5 2	側壁部	
5 2 a	上端フランジ	
5 2 b	ハーネス通過穴(穴)	
5 3	前壁部	
5 4	補強壁部	
5 4 a	補強凸部	
6 0	溶接痕(接合されている部分)	
6 1	第1溶接部	
6 2	第2溶接部	30